

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	各部構法計画小委員会	主 査 名：信太 洋行 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画・構法計画運営委員会)	委員長名：清家 剛 主 査 名：小見 康夫
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「構法の情報化」と「構法史」に関する研究を推進すること、および研究と実務の最新情報の交流・収集を目的とする。「構法の情報化」は、構法教育における BIM 活用や、今まで収集してきた構法写真データベース等を対象に、デジタル・アーカイブ手法を検討する。</p> <p>「構法史」は、構法計画・建築史・建築設計等の複数分野の専門家の連携を通じて、構法史研究という概念の明確化と研究手法に関して検討する。こちらの研究課題については WG を設置し、小委員会に進捗状況について議論する。</p> <p>初年度：①「構法の情報化」に関する研究を推進すること②「構法史」に関する研究を推進すること③最新構法事例に関する講演会・見学会を企画し、研究と実務の交流を行うこと</p> <p>2 年度：「構法の情報化」と「構法史」の融合と対外的な情報発信を行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：信太 洋行 (東京都市大学) 幹事：熊谷 亮平 (東京理科大学) 委員：池尻 隆史 (近畿大学)、石田 航星 (早稲田大学)、岩村 雅人 (工学院大学)、江口 了 (横浜国立大学)、岡路 明良 (鹿島建設)、奥村 誠一 (青木茂建築工房)、小見 康夫 (東京都市大学)、加戸 啓太 (千葉大学)、門脇 耕三 (明治大学)、小久保 彰 (国士舘大学)、佐藤 考一 (金沢工業大学)、角田 誠 (東京都立大学)、前島 彩子 (明海大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	構法史 WG：構法計画・建築史・建築設計・建築計画等の複数分野の専門家の連携を通じて、構法史研究という概念を明確にするとともに、研究手法についても一定の方法論を見いだすことを目的とする。	
2023 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://sites.google.com/site/kakubukouhou/home

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 5 月 17 日：内田祥哉設計の震ヶ関電話局の現場見学会では、1950 年代のディテールや保存状態等を調査した。11 月 24 日：鹿島建設設計の浜松町 2 丁目 C 街区計画現場見学会を通じて、研究と実務の交流を行った。 2. 2 月 9 日：藤木工務店による旧吹屋小学校保存修理工事に関するレクチャを通じて、既存構法と新構法の擦り合わせに関して議論する予定。
委員会活動の問題点・課題	見学会やレクチャを通じて構法に関する情報共有を行ったが、それを形に出来ていないのが課題である。今後は作業を通じて成果を形にすることを目標とする。